

■第8次鷹栖町総合振興計画（素案）パブリックコメントご意見と町の考え

No.	該当	ご意見	町の考え	計画修正
1	-	<p>素案についてとは違いますが、「ふらっと」という場所に目につきやすい形で意見箱が置いてあること、素案をざっと目を通し、こんなことをやっているんだとわかること。こういう町の取り組みを身近に気軽に見れることが良いと感じました。</p> <p>例えば、中央図書館では、こういう偶然はありません。探して見たい人だけに門は開けられます。何も考えていない人が出会える環境が町と人をつなげられる、自発的に参加できる糸口があるなあと思います。</p> <p>娘が鷹栖に住みたいというほど、ここは私たちにとって身近な場所です。もっと素敵な町になることを夢に。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。また、今後の鷹栖町のまちづくりについて、参考になる素敵な思いを寄せていただき、重ねてありがとうございます。</p> <p>「町民参加・町民主体のまちづくり」「あらゆる関係の方に関わっていただくまちづくり」に、この形でいいんだという明確なゴールがあるわけではなく、その都度、常にそのことを意識して、最善をよく考え、進めていくことの積み重ねでしかないと考えております。</p> <p>今後とも引き続き、より素敵な鷹栖町づくりにお力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。</p>	-
2	-	<p>よく、“アクティブ・シニア”と言われますが、“まちづくりの参画総量を高める”という根本命題を解くカギは、（増上慢とまではいきませんが）手前味噌ながら我々が握っているとの自負で余生を（元気な限り）この鷹栖まちづくりに捧げたいと存じます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。人口減少、少子高齢化が見込まれる今後のまちづくりにおいては、「町民参加・町民主体のまちづくり」の必要性と役割が一層高まります。町民の皆さんとともに、まちの将来像の実現に向けて進んでまいりたいと考えていますので、このようなご意見をいただけますことは、行政としてもとても嬉しい限りです。今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。</p>	-
3	-	<p>人口が増えれば財政が良くなる訳ではないので、町内での農産物の活性化が必要ではないか？と思いました。計画内容はあまり具体的ではないので、新しいアイデアが必要と思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご意見のとおり、単に人口が増えればまちが活性化するわけではなく、農産物をはじめ、様々な分野で町民の皆さんや関係する皆さんの思いが高まり活動が広がるのが、まちの活性化へつながることだと認識しております。</p> <p>まちの将来像を実現するための取り組みの方向性を示す「基本計画」では、具体的な事業の記述まではございませんが、町民の皆さんや行政などで知恵を出し合い、皆が主体的に関わることで、計画を実行してまいりたいと考えております。</p>	-
4	-	<p>旭川に住んでいる人でも鷹栖に来たことがない人・・・沢山います。</p> <p>「用事がないから、何もないから」との言葉。</p> <p>観光に力を入れるのは、かなり無理があると思いますが、わざわざ来なくなる場所、物、住んでいる人も楽しめる場所、一つでもあると違いますよね。</p> <p>せっかくの良い物、人が鷹栖でつながってないですね。特に商業は？農業もどうでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画の策定にあたり、ワークショップなどを通して町民の皆さまから、鷹栖町には多くの「人・もの・コト」の資源があるというご意見を多くいただいております。そうした地域の良さや資源をあらためて見つめなおし、大切に、より一層生かしていくということが、住民の皆さんの思いであり、大切な視点であると認識し、基本構想や基本計画をまとめてまいりましたことは、ご意見の主旨と合致する部分かと思っております。</p> <p>また「分野横断的に取り組む重点施策（P63～）」を定め、各分野が縦割りにならずにつながりを持って成果を高めるよう、推進してまいります。農業や観光については特に、「（3）農業資源を生かしたまちづくり（P66）」において関連して記述してまいります。</p>	-
5	-	<p>パブリックコメントを求めるに当たり、町HPの更新情報やイベントでもわからないのは、不親切なHPと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。パブリックコメントの実施については、町HPの更新情報に掲載させていただきました。そのほか、町フェイスブック、広報たかす11月号への掲載、公共施設での閲覧と意見募集（役場、5地区住民センター、北野サロン）、5地区まちづくり懇談会にて、周知に努めさせていただきました。</p> <p>ご意見として承り、より一層、町民の皆さんに届きやすい、わかりやすい情報発信に努めてまいります。</p>	-

No.	該当	ご意見	町の考え	計画修正
6	P10	①鷹栖町の現況を説明するに当たり、P10の(4)周辺地域との比較において、東神楽町、当麻町、東川町を選定した理由が不明。周辺というのであれば7町選定比較するべき。	ご意見ありがとうございます。周辺地域のうち、人口規模や立地条件が類似している自治体として、3町を選定して比較しています。ご意見として承ります。	-
7	P11	製造品出荷額がこんなに低いのは問題ですが、どうして販売額はこんなに高いのでしょうか？高いものを売っているということでしょうか？	ご意見ありがとうございます。年間商品販売額は、経済産業省の商業統計調査(5年ごとに実施)に基づいた数値です。卸売業または小売業の商業で売り買いされた物品の販売額です。	-
8	P13	P13の4. 策定方法の(1)住民アンケート調査で回収率(数)が低すぎることはないだろうか？これが全世帯数に対してなら1,400(3,000×0.47)なのでわかるが、最重要コンセプトというわりには調査数が少なく精度が低く意見が偏っているのでは？	ご意見ありがとうございます。郵送による無作為抽出アンケートの回収率としては、本アンケートが特筆して回収率が低いということではないと捉えています。できる限り意見に偏りが生じないように、男女別、年代別、地区別に考慮したうえで、無作為に対象者を抽出いたしました。 また、本計画策定にあたっては、町民参画の策定プロセスを最重要コンセプトとさせていただき、町民アンケートだけではなく、対面でのヒアリングによる意見聴取、町民ワークショップやまちづくりセミナーなどの開催を重ね、幅広くご意見を伺い、参画機会が確保できるように努めさせていただきました。ここまで取り組んだら十分、という考えはもちろんございませんが、取り組みの経過をご理解いただき、引き続き住民参画のまちづくりにお力添えをいただけますようお願い申し上げます。	-
9	P29	P29の基本目標③あらゆる地域資源を活かす幸せなしごとをつくるまちの項で前段、後段で豊かな地域資源うんぬんを書き、中段で人口の減少や情勢の変化を書いているが、前段→中段→後段と全くつながらない。ただ字句を並べているだけでは？ そもそも豊かな地域資源だけでは、農業もじり貧なのは自明の理です。	ご意見ありがとうございます。ご指摘いただいた「基本目標③ あらゆる地域資源を生かす 幸せなしごとをつくるまち」においては、第1段落でこれまでの本町の経過や背景、第2段落で現状と課題、第3段落で目指すべき姿について記述しております。 本町が有する、地理的、歴史的な資源や人材、ネットワークをより一層生かしていくことで、地域農業の可能性は大いに高まると認識しています。	-
10	P33	若年層の人口を増やすためにも子育て、教育に関しての計画はとても素晴らしいと思います。人との違いを認め合える子どもが大人になったとき、お互いに支え合える地域の仲間として力強いのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。計画がしっかりと実行できるよう、行政として責任を持って取り組むことはもちろん、町民の皆さんや各関係機関の皆さんのお力添えをいただきながら、推進してまいります。	-
11	P33-35	[基本目標] 1. . . [子育て支援] の強化は大賛成です。子供たちが自らの可能性を発見して、自らの力で実現、自立していくエンパワーメントの醸成は、それをサポートしていく [子育て支援] と合わせて絶対に必要です。また、下種な話かもしれませんが、そこには数値化できない(未知という意味で) 経済効果を秘めているとも言えるからです。 (柴田 悠『子育て支援が日本を救う』『子育て支援と経済成長』参照) 町が持つ既存の支援アイテムの見直し、例えば、ゴールドコースト友好訪問団の団員募集への枠や費用援助の拡大、スカラシップ枠の条件緩和(世帯年収の制限等)、条件付き返済不要枠の創設など、投資に値するものはいくらでもあると思います。	ご意見ありがとうございます。本計画の策定にあたり、ワークショップなどを通して町民の皆さまから、「鷹栖町の魅力は人であり人づくりを大切にすること、子どもたちにとって魅力あるまちづくりに力を注ぐこと」に関して多くのご意見をいただいております。そうしたご意見をもとに、「基本目標1 あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち」の実現に向けた政策、施策を示しているところです。 具体的な取り組み、手段についての記述はご意見として承り、子育て支援の強化に努めてまいります。	-
12	P35	P35必要な取り組みの・地域のしごとを学ぶ農育が上記記述との関連性が見られない。 (大規模農業、野菜の面積減少を学ぶ?)	ご意見ありがとうございます。子どもたちにとって、地域で取り組まれている産業や仕事について、教科書からだけでなく実体験を通して、当事者の方と実際に関わって学び、感じることは貴重な経験です。鷹栖町ならではの環境を生かした学びを実践することで、感性を豊かに、ふるさとに誇りを持って子どもたちが成長していくことの実現に寄与すると考えます。	-

No.	該当	ご意見	町の考え	計画修正
13	P 40	P 4 0 の必要な取り組みで・緊急時の子どもの預かり体制の強化とは、強化ということなので今も取り組んでいると思うが、具体的にはどんな？（児童クラブなんたらかんたらではないですね？）また子供とは0歳から18歳までですね。 夜間保育やりましたか？中高校生の預かり体制とは？	ご意見ありがとうございます。現在は「上川中部子ども緊急さぼねっと」において、0歳から小学6年生までのお子さんがある家庭を対象に、急な発病や都合による、緊急時の預かりの支援を行っています。中高校生への同様の支援や夜間保育については、現状、町内では行っていません。 今後も全国的に少子化が進み、子育て支援体制の一層の充実が求められることが見込まれます。常に社会情勢や地域ニーズに沿った、希望が叶う子育て環境の整備に努めていく方針です。	—
14	P 42	施策2-②-01 生涯元気に活躍できるまち 「現状と課題」の本文記述の修正 「本町の高齢化率（65歳以上人口の割合）は3割を超え、今後も高齢化が進むことが見込まれています。」⇒「本町の高齢化率（65歳以上人口の割合）は3割を超え、今後は超高齢社会に突入していきます。」 「また、高齢化と長寿化によって在宅医療が一層推進されることが見込まれ…」⇒「また、高齢化と重症化によって在宅医療が一層推進されることが見込まれ…」	ご意見ありがとうございます。ご意見のとおり、本文を修正いたします。 「本町の高齢化率（65歳以上人口の割合）は3割を超え、今後は超高齢社会に突入していきます。」 「また、高齢化と重症化によって在宅医療が一層推進されることが見込まれ…」	あり
15	P 42-44	[基本目標] 2 に関して、基本目標1の「スポーツに親しみ・・・地域交流や健やかな暮らしを実現」していくにも通じますが、いみじくも「自分の健康は自分で守る」とあるように、健康寿命の延伸は、単に医療体制やサービスの向上、健康DBの整備といったパッシブな側面よりも、如何にアクティブに生きるかという個々の姿勢に依存すると思います。また、健康というとフィジカルの方に目が向きがちですが、メンタルの健康も相軸として具体的な方針、施策を併記すべきではないでしょうか。 気になったワードで“インセンティブを付与する制度の構築”というのがあります。先日（だけでなく）のチャレンジデーの結果（効果）を町としてどう評価されているかコメントがないのでわかりませんが、こういった機会をもっと拡大して例えば“毎月〇〇日（第〇曜日）は町民一斉チャレンジデー”とキャンペーンを打ったり、条例で制定されている「スポーツマスター賞」の定義を見直して広くノミネートできる制度改正と周知が必要と考えます。	ご意見ありがとうございます。あらゆる活動の基盤として健康が大切であることはすべての人に共通する一方、健康の定義として目指すべき状態や、必要な支援ニーズは、一人ひとりの暮らしによって異なるものです。そうしたことから、ご意見いただいたとおりで、ご自身の健康はご自身で守ることが基本であり、そのための有効な手立てや支援を充実していくことが、「施策2-②-02 みんなで主体的に取り組む健康づくり」の趣旨としているところです。 メンタルの健康に関しては、ご意見いただいたとおり大切な要素であることを認識し、分野横断的に取り組む重点施策としてP65で示した「健康のまちづくり」において、記述しているところです。 ご意見を参考に、P43「施策2-②-02 みんなで主体的に取り組む健康づくり」においても、基本的な方針のなかで、 「町民の健康を阻害している生活習慣病を防ぐため、「栄養」「運動」「休養」の視点を中心に、食と身体活動、口腔などが関わる健康増進に向けた支援を行います。」⇒「町民の健康を阻害している生活習慣病を防ぐため、「栄養」「運動」「休養」の視点を中心に、食と身体活動、口腔などが関わる健康増進に向けた支援を行うとともに、心の健康を保持するために必要なサポートに取り組みます。」と修正します。 チャレンジデーは、自治体間の競争というゲーム性を利用することで、町民が健康づくりに関心を寄せていただくきっかけづくりとして取り組んでおり、ご意見いただいた通り、その後の継続した健康活動につなげていただくための支援や環境づくりも重要であると認識しております。具体的な取り組み、手段についての記述はご意見として承り、健康なまちづくりの実現に努めてまいります。	あり

No.	該当	ご意見	町の考え	計画修正
16	P45	<p>[基本目標] 3. . . 幸せなしごとをつくるというのは、意図するところは分からないでもありませんが、こじ付けとは言わないまでも、産業振興＝“幸せ”と単純な同義化には無理があるように思えて違和感を禁じえません。その恩恵にすべての町民があずかるかどうかは極めて懐疑的で、そうだとでも限定的に思います。</p> <p>“幸せなしごと”は“仕事”自体が（それに従事することが）“幸せ”というよりも、町を形成する、教育や福祉、健康がメンタルな部分だとすれば、基幹産業（農業）やその上に成り立つ商工業（地場産業）といったフィジカルな側面の強化が“まち”を存続たらしめる必要最低条件だとストレートに敷衍すべきと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本町は開基以来、百数十年にわたって、農業を基幹産業として発展してきた歴史を有します。農業の営みがもたらしてくれる四季折々の田園風景や農産物の恵みは、今なお、農業者のみならず、鷹栖町民の暮らしや心を豊かにしてくれるもので、これからも大切にしたいと感じていることは、本計画の策定にあたって実施したワークショップなどで多く意見として挙げられました。また、若い人をはじめとして、地域に定着して幸せな生活を営むためには、一過性ではなく、持続性のある仕事が存在することが欠かせません。</p> <p>以上のような町民意見や視点をもとに、町民の幸せな暮らしと密接にあるという地域の良さを生かした産業振興と、持続的な暮らしにつながる仕事づくりを進めていくという決意から、「幸せなしごとをつくる」という記述に至っております。</p>	-
17	P67	<p>（鷹栖）市街化エリアの魅力づくり</p> <p>言葉は悪いですが、（様々な要因で）ここまで衰退した“中心商店街”の幻影を追い続けるのは最早得策とは思えません。商業の可能性は否定しませんが、それよりも、ふらっと（図書室を含む）の完成で生まれた、役場を中心としたメロディーホール、総合体育館、運動公園を結ぶ空間を有機的に機能させる智慧が必要と思います。</p> <p>それと浅知恵ではありますが、（資金や土地のことは別として）商業エリアを集積（モール化）して消費動線を一本化するのも一考かと。地場産品（農畜産物や豆腐、ワインなど）の購買がいつでも出来て（しかも市場より安価）、例えば鷹の爪のラーメンや大八の牛カレー、紀文の寿司が同じ場所で食べれて、その足が図書室やホール（イベントなど）に繋がっている、そこに病院や歯医者、役場の窓口があれば、〇〇のついでみたいな（1 + 1 = 3となる合理的な相乗効果）動線が生まれるのではないのでしょうか？</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご意見のとおり、市街地エリアの魅力と持続性を高めるためには、単に商業振興を図るのではなく、エリア全体を構成する様々な要素を点ではなく面的に捉え、子育てや教育、福祉、生活環境などの要素が関わり合ったうえで、町民の暮らしの質が高まっていくことが必要であると認識しております。一方で商工業によるにぎわいの創出も、エリアの価値を高める大切な一要素であり、取り組むべき施策であるとも考えています。</p> <p>具体的な取り組み、手段についての記述はご意見として承り、市街地エリアの魅力づくりに努めてまいります。</p>	-
18	P67	<p>地震災害後の「花輪商店」から「ブックオフ鷹栖町店」へ新生。さらに「イオン鷹栖店」グレードオープンしたいと思っております。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。記述内容から「市街地エリアの魅力づくり」に関する内容かと認識しております。市街地エリアに関しては、P67に記載の方針で進めてまいりたいと考えております。</p>	-